



D DI CLASSE

明るさだけを重視する照明器具から
人の暮らしの原点に立ち返る「デザイン照明」へ。

「光と影」をコンセプトに
デザインした照明。

「インテリア照明としての役割」

照明は単に部屋を明るくするだけの道具ではありません。

「空間にアクセント」を加えたり、「癒し」の効果を得ることが出来ます。アイテムひとつで快適な空間に変わり、日々の暮らしをより豊かにすることができる。

それが本来「照明」のあるべき姿なのではないでしょうか。



CONTENTS

- 1 ディクラッセについて
- 2 プロダクト
- 3 基本的な照明の取付方法
- 4 コード長さ調節
- 5 ライトの種類／特徴について
- 6 基本的な照明の選び方
- 7 電球の種類について
- 8 あかりについて

01 ABOUT DI CLASSE

ディクラッセは「光と影」をコンセプトとした照明をメインに、インテリア商品を生み出しています。
東京を拠点にしたデザインカンパニーとして、デザイン、企画、製造、販売、卸まで一貫して行っています。



光の色

太古から人は夕日やたき火をみると、癒されくつろぎを感じます。そんなくつろぎを与える暖色系のオレンジ色の光で商品作りをしています。

光のスタイリング

例えば葉っぱの影が壁などに映しだされ、木陰で休んでいるような心地よさを感じる照明や、オーロラのような光のグラデーションを生み出す照明など、光は照らすだけでなく心地よい陰影もつくることができるという発想を大切にしています。

光が創り出す陰影

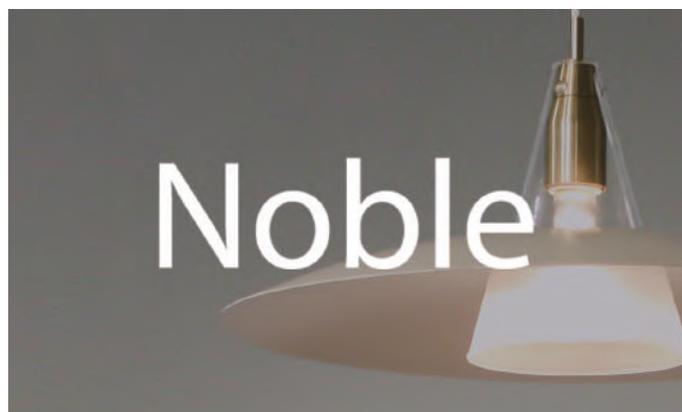
くつろぎのスペースを作る光は、必ずしも部屋の隅々まで照らすほど明るくなくてよいのです。例えば食事をするテーブル、本を読むソファ、寝室のサイドテーブルなど必要な場所だけを照らす「適材適所」の照明づかいは、光と影の対比で部屋に落ち着いた空間と奥行をもたらします。そんな光のスタイリングも楽しめる照明器具をつくっています。

02 PRODUCT

ディクラッセの商品ラインナップに3つのテイストがある理由。

Reasons DI CLASSE has 3 tastes for products.

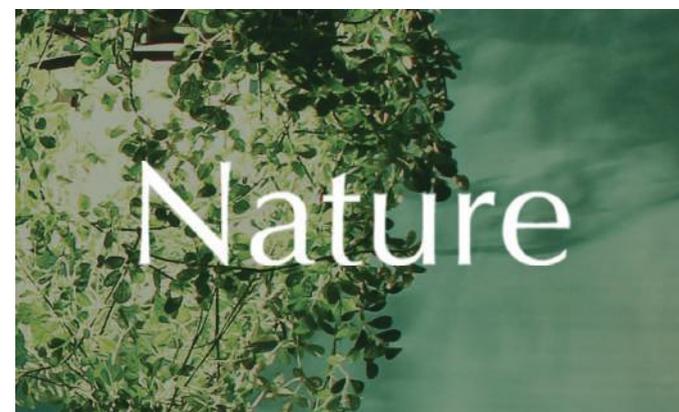
ヨーロッパでは、天井照明だけでなく、フロアランプやテーブルランプなどのセカンド照明を上手に取り入れたり、複数の天井照明をつけて、立体感のある住空間をつくり出すことで、落ち着きのある暮らしを上手に楽しんでいます。日本でも、もっと気軽に照明のコーディネートを楽しんでいただきたいと考え、ディクラッセでは商品を3つのテイストに分けてご提案しています。



空間に調和しやすく飽きのこないデザイン。時代を経ても流行に左右されない、シンプルさが特徴です。



クラシック、デコラティブなスタイルにモダンテイストをくわえてデザインされたアイテムです。

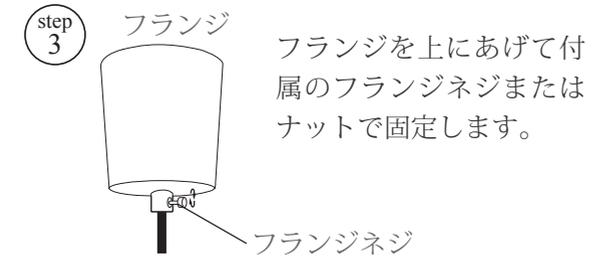
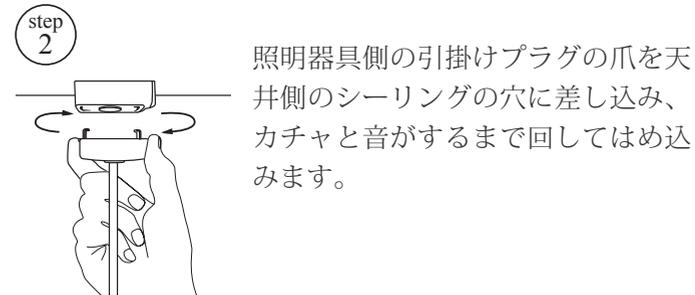


自然の素材やモチーフをテーマに、空間の中で自然を感じる事ができるナチュラルテイストなデザインが特徴です。

お好きなテイストの中から照明をセレクトしていただくことで、テイストが統一されたコーディネートを楽しんでいただけます。

03 基本的な照明の取付方法

天井に下記の引掛けシーリングがついていれば、照明器具の取り付けができます。



ライティングレールに取り付ける場合、



ライティングレールに取り付ける場合、別途シーリングプラグが必要になります。



傾斜天井への取付について

傾斜天井(勾配天井)にはご使用いただけません。ただし天井に「傾斜天井用引掛けシーリング」を取りつけて、天井側の差し込みが水平になるよう調整すると、傾斜天井にも照明の取り付けが可能になります。取り付けには専門業者の工事が必要になりますので、詳しくはお取扱い店舗様や電気工務店様などにお問い合わせください。



※弊社では「傾斜天井用引掛けシーリング」の取り扱いはありません。

04 コード長さ調節

【コード調整商品が可能な商品のカタログやWEBサイトの表記】

例) 

アウロ M ホワイト
[5100257] LP2049WHH ¥15,000 (+税)

■付属電球 E26 60W 白熱 普通球(ホワイト)
■サイズ・重量 シェードのサイズ：幅φ37×高さ41cm
天井からシェード下までの寸法：
全高 58-117cm ※高さ調節可能
・重 1.0kg

■素 材 ポリプロピレン、スチール、アクリル
■仕 様 引掛けシーリングコード吊り ホワイトコード
長さ調節可 組立式
蛍光灯対応 × LED 対応 ○

商品スペック欄に「長さ調節可」と表示のあるものは調節可能です。

調節できる高さの範囲はスペック欄に商品の全高で最短～最大の長さを記載しています。

【コードの長さ調整方法】



コードストッパーの位置が左図のようになっていると、本体の重みでコードが下がってきてしまいます。



矢印の方向へ、たるませたコードを引っ張り上げると、コードストッパーが効いて下がらないようになります。

【ペンダントコード延長・カット加工】

コード吊りの商品のみ、カット、延長が可能です。有料にて承ります。納期は約2～3週間程掛ります。

(金額は別途見積り。)

※依頼をする商品が欠品していた場合は、入荷後の加工手配となります。加工対応はcm単位まで指定可能ですが、±2cm程度の誤差が生じる場合がございます。

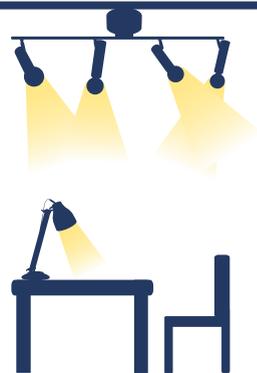
05 ライトの種類／特徴について

一つの照明だけでなく、光の色や強さなど、複数のあかりの組み合わせによってお部屋の雰囲気は大きく変わります。
ダイニングテーブル、くつろぎの場所、お部屋の目的で照明を着せ替え、組み合わせを楽しめます。

ライトの種類／特徴

〈シーリングライト〉

天井に直接取り付けるタイプなので、省スペース。高い位置からお部屋全体に光を届けます。



〈ペンダントライト〉

コードやチェーンによって吊り下げるタイプ。高さで光の印象を変えられ、インテリア性の高い照明です。



〈シャンデリア〉

光が上下に拡散する吊り下げ式の多灯タイプ。華やかで豪華なイメージが特徴の照明です。



〈デスクライト〉

机の上に配置して使用するタイプのライト。主照明の補助照明として手元をしっかりと照らします。



〈テーブルランプ〉

テーブルやローボードに配置するタイプの照明。



〈フロアランプ〉

床に置いて足元を照らし、使用するタイプの照明。



〈フロアスタンドランプ〉

床に置いて使用するタイプの照明。移動が自由で位置を変えて楽しめ、読書時や雰囲気作りに便利です。



06 基本的な照明の選び方

お部屋の広さによる、明るさの目安

お部屋の広さ	6畳	8畳	10畳	12畳
合計(ワット数)	180w - 240w	240w - 320w	320w - 400w	360w - 480w

目的やシーンによって必要な明るさは異なりますが、目安として1畳あたり約40Wとされています。あくまで目安となりますが、合計で上記のワット数をつくる事ができれば、生活しやすい明るさになります。

複数のライトを組み合わせることで、明るさを調整することで、光と影にリズム感が生まれます。

① リビング8畳の場合



ペンダントランプ + フロアランプ = 260w
(200w) (60w)

② リビング10畳の場合



ペンダントランプ + テーブルランプ + フロアランプ = 320w
(200w) (60w) (60w)

07 電球の種類について

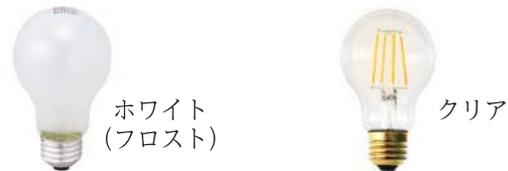
○電球のカタチ

電球の形は一般的に、普通球、ボール球、ミニ球、シャンデリア球などの種類があります。また光を反射させる加工がされたミラー球やレフ球、などの形もあります。



○電球の色

電球の色はホワイト(フロスト)とクリアがあります。電球の色によって外観や影の出方などが変わりますので、ご注意ください。



○口金 (口径)

照明器具によって電球の口金のサイズが異なりますので、必ず口金のサイズをご確認ください。一般的な口金のサイズは E-26 と E-17 ですが、小さめの E-14・E-12 などもあります。



白熱電球と LED の比較

W 数	
白熱	LED
20W	約3W
40W	約5W
60W	約8W
100W	約15W

*LEDのW数は目安となります。商品によって誤差がございます。

寿命	
白熱	LED
白熱球：約1000~2000時間	約40000時間 (*)

(*) 設置環境、個体差により変動あり

それぞれのメリット/デメリット	
白熱	LED
<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none">• 温かみのある光。• リラックスできる光。• 調光ができる。• 価格が安い。• 影が綺麗にでる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none">• 消費電力が高い。• 熱が出る。(火傷の可能性あり)• 寿命が短い。	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none">• 白熱球と比べると寿命が長い。• 消費電力が少ない。• 紫外線を出さない為 虫が寄り付かない。• 熱が出ない。• 調色できるものもある。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none">• 白熱球と比較すると価格が高い。 (相場 ¥2000~¥3000/球ぐらい)• 熱に弱い。• 光源を直視すると目に悪影響• 調光器との相性がある。

08 あかりについて

色温度

LED ライトの表記で目にしたことがある方もいらっしゃると思いますが、色温度とは、太陽光や自然光、人工的な照明などの光源が発する光の色を表すための尺度のことです。単位はケルビン (K) です。光源の温度や明るさとは関係ありません。色温度の単位 (K) が低いほど暖色系の色を発し、高いほど寒色系の色を発します。自然光などの朝日や夕日の色温度はおよそ 2000K、太陽光は 5000~6000K 程度、人工照明では、ろうそくが約 2000K、白熱電球や電球色の蛍光灯が約 2800K、と一般的に言われています。



白熱球と LED 電球のあかり

● LED電球(60W相当の明るさ) 使用時



● 白熱電球(40W/クリアー) 使用時



LED電球使用時と白熱電球使用時ではあかりの表情が変わります。画像の場合、LED電球は周囲全体明るくし、暖かみのあるオレンジになり、白熱球の場合くっきりと影が壁に投影されています。

*当社取り扱い電球使用に夜比較。



「自然の光りのサイクル」を、
もう一度日本の生活に取り戻して欲しい。

朝日を浴びて目覚め、昼間は太陽の光りのもとで狩りや農作業をして、木漏れ日の中で休息をとりながら夕暮れまで働く。そしてオレンジ色の夕日を浴びて家路につき、たき火をかこんだ食事の後床に付く。人々は太古から、こうした光りのサイクルの中で生活をしてきました、人間にとって大切な「自然の光りのサイクル」を、もう一度日本の生活に取り戻して欲しい。それがデザイナーでもある私の願いです。

代表取締役 / デザイナー 遠藤 道明